

平成22年度 事業報告書

平成22年4月 1日から

平成23年3月31日まで

学校法人 螢池学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 螢池学園（昭和57年3月31日法人設立）

代表者 理事長 泉 潔

住 所 豊中市螢池西町1丁目11番3号

電 話 06-6843-1234

FAX 06-6843-1254

設置する学校

住 所 豊中市螢池西町1丁目11番3号

名 称 螢池文化幼稚園

役 員 理 事 6名 監 事 2名

評議員 13名

理事会 2回開催 評議員会 2回開催

職 員 13名

2. 事業の概要

（ 螢池文化幼稚園 ）

《教育方針》

よく考える子、約束の守れる子、心のやさしい子、明るくのびのび元気な子

《教育内容》

礼儀正しく毎日のあいさつがしっかりできる子に。絵画、体操、英語の講師陣をそろえて、通常保育の中で指導。年長児には知能教育教材を取り入れています。

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員	2	70	2	70	2	70	6	210
21年度	2	21	2	37	2	32	6	90
22年度	2	34	2	39	2	38	6	111
23年度	3	48	2	45	2	38	7	131

《保育時間》

月・火・木・金曜日 午前8時～午後2時30分

水・土曜日 午前8時～午前11時30分

《納付金》

保育料 （3・4・5歳児）年額240,000円（12分割均等納付）

給食費 週3回 無料

《入園時の費用》

入園料 50,000円

施設費（3歳児）30,000円（4歳児）20,000円

検定料 1,000円

《預かり保育の時間及び費用》

月 ～ 金曜日 午後6時
水曜日 午後3時30分
日払い 600円

《行事实施状況》

春の遠足、プラネタリウム、父の日参観、プール開き、お泊まり保育、運動会
秋の遠足、秋まつりおみこし、文化カーニバル、いも掘り、親子ハイキング
おもちつき、自然観察園外保育、節分豆まき、生活発表会

《施設関係》

園地面積 1,400㎡ 運動場面積 800㎡
保育園の追加工事を実施した。

《設備関係》

マット取得した。空調設備等点検を実施。

《事業報告》

平成22年度の事業は、前年度より大幅に21名の園児が増加し、保護者の協力を得て職員一同が努力した結果、順調に運営することができた。

財務面では、消費収支で見ると、帰属収入合計が前年比36.98%と大幅な増収となっている。詳しく内訳で見ると園児増加のため、納付金、補助金及び事業収入が増加した。雑収入の増加は退職金財団収入である。それを除くと16.74%の増収となる。

支出面では、人件費において退職金の支出があり、大幅に上昇したが、それを除くと定期昇給・所定福利費の増加があるものの、教諭の入替りがあり僅かに減少する。経費は増加し、消費支出の部合計で前年比28.61%（退職金を除くと12.86%）と上昇した。帰属収支差額は、8,927千円のプラスで前年度より改善した。経営状況の目安である帰属収支差額比率も、前年より改善し、7.72%なり、良好な経営状況になった。

また、人件費比率も退職金を除くと59.60%（62.10%）となり、前年度よりやや低下し、全国平均（大阪府平均）並みである。

資金面では、施設・設備関係支出があったものの、繰越支払資金は前年度を上回った。繰越支払い資金については、第4号基本金の額（5,000千円）の23倍以上の額を保持できているので、資金繰りは問題ない。

新年度、園児数は、16名増加し、良好な経営状態は継続することができる。

また、当年度の卒園児は40名であるので、当年度の園児数を確保できれば、良好な経営状況を維持することができる。

更に、「大阪スマイル・チャイルド事業」による預かり保育への積極的な取組、保育所部門も地域の信頼と当園の期待から順調に推移している。保育所と幼稚園を併せ持つ当園の良さをしっかりと広報していくこととする。

自己評価、学校関係者評価については、教職員からその評価を集約し、別紙により取りまとめた。この内容を精査・検討し新年度の評価項目を策定した。

【基本金】 学校法人会計基準に内容、種類が以下の通り規定されている。

第29条 学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その帰属収入のうちから組み入れた金額を基本金とする。

第30条 学校法人は、次に掲げる金額に相当する金額を、基本金に組み入れるものとする。

- 一 学校法人が設立当初に取得した固定資産（法附則第二条第一項に規定する学校法人以外の私立の学校の設置者にあつては、同条第三項の規定による特別の会計を設けた際に有していた固定資産）で教育の用に供されるものの価額又は新たな学校（専修学校及び各種学校を含む。以下この号及び次号において同じ。）の設置若しくは既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のために取得した固定資産の価額
- 二 学校法人が新たな学校の設置又は既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のために将来取得する固定資産の取得に充てる金銭その他の資産の額
- 三 基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額
- 四 恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額

前年度の消費支出の人件費（退職金を除く）、教育研究経費及び管理経費（それぞれ減価償却額を除く）、借入金等利息の合計を12で除した額で100万円単位。

3. 財務状況

別紙。

（ いずみ保育園 ）

保育園 員30人	定	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児数計
		園児数	園児数	園児数	園児数	園児数	園児数	
22年度		6	10	12	15	8	5	56
23年度		6	10	12	12	13	8	61